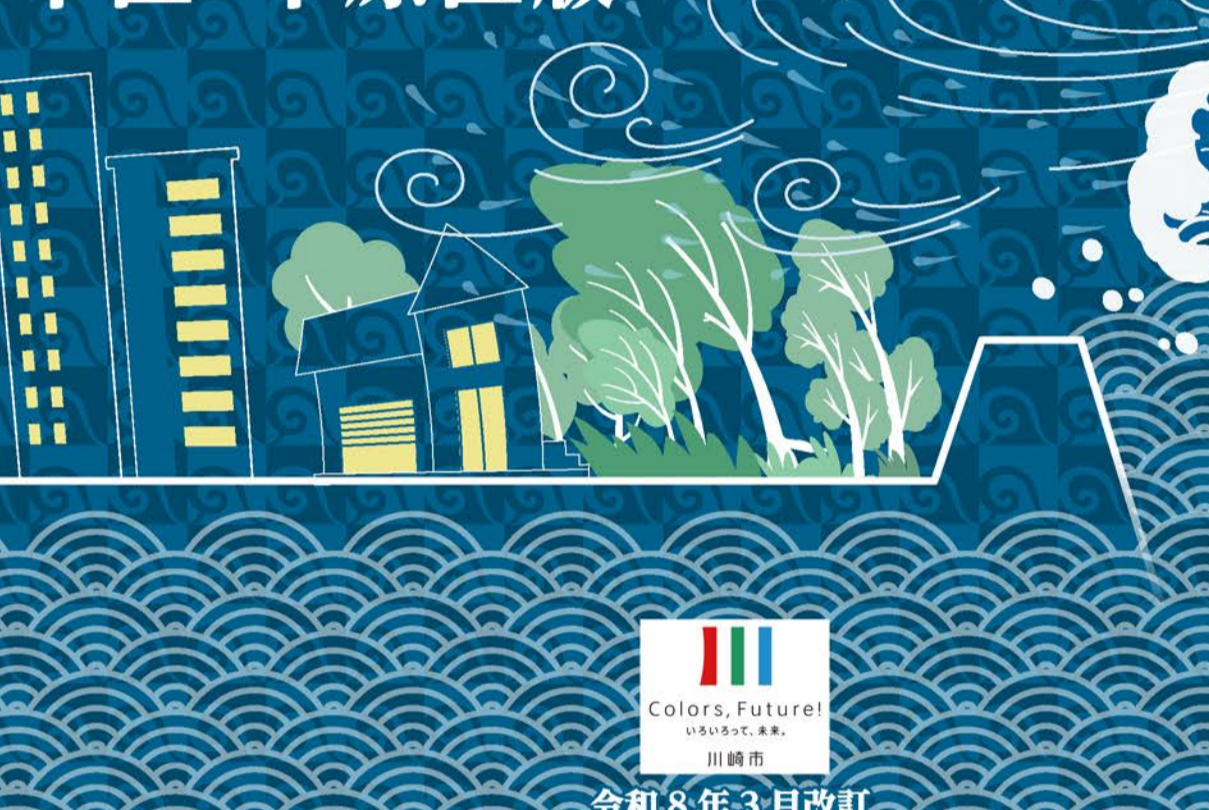


川崎市 高潮ハザードマップ

幸区・中原区版



令和8年3月改訂

高潮とは（発生メカニズム）

①気圧低下による水位上げ
台風や低気圧の中心では気圧が周辺より低いため、気圧の高い周辺の空気が海水を押し下げ、中心付近の空気が海水を上昇させるように作用する結果、海面が上昇します。気圧が1hPa（ヘクトパスカル）下がると、潮位は約1cm上昇すると言われています。

②風による吹き寄せ
台風や低気圧に伴う強い風が沖から海岸に向かって吹くと海水は海岸に吹き寄せられ、海岸付近の海面が上昇します。風速が2倍になった場合、海面上昇は4倍となります。

③吹き寄せ効果による潮位上昇
台風や低気圧の中心では気圧が周辺より低いため、気圧の高い周辺の空気が海水を押し下げ、中心付近の空気が海水を上昇させるように作用する結果、海面が上昇します。気圧が1hPa（ヘクトパスカル）下がると、潮位は約1cm上昇すると言われています。

高潮と津波の違い

高潮と津波は発生要因が異なるため、特徴が異なります。

高潮とは	津波とは
発生要因 台風や発達した低気圧により発生 特徴 気圧の低下と吹き寄せ効果により海面が上昇する。また高潮より、気圧より大きな波が発生する。	発生要因 海底で起きる地震により発生 特徴 海底から海面までのすべての海水が巨大な水塊となって沿岸に押し寄せると、破壊力が凄まじい。

高潮発生時に注意すべき事項

高潮が発生した場合、海水が陸地へ流れ込み浸水による被害を起します。特に、次のような場所や時間には気を付ける必要があります。

- 海岸近くの低地**：海岸近くの低地では、高潮による浸水被害が起る危険性が高くなります。
- 湾の奥部や河口部**：湾の奥は吹き寄せられた海水が集まり、水位が上がります。河口部では高潮と洪水が重なる危険性があります。
- 大潮の満潮時**：台風接近時に最も潮位の高くなる大潮の満潮時と台風の接近が重なった場合、高潮の危険性が高くなります。

高潮と台風

「台風」は高潮を引き起こす要因である「低気圧」と「強風」を併せ持っています。台風の接近が予想される場合、高潮発生の可能性が高くなります。

台風と進路の関係	台風の強さ（最大風速）
台風は進行方向に対して右側の風が強くなり、吹き寄せ効果による高潮が発生しやすいです。	強い台風 33m/s (64ノット) 以上～44m/s (85ノット) 未満 非常に強い台風 44m/s (85ノット) 以上～54m/s (105ノット) 未満 猛烈な台風 54m/s (105ノット) 以上

避難情報・避難行動について

気象情報と避難情報の関連性

※総合的に判断するため、警戒レベル（避難情報等）と警戒レベル相当情報が出るタイミングや対象地域は必ずしも一致しません。

警戒レベル	状況	避難行動等	避難情報等
警戒レベル5	災害の発生又は切迫	既に災害が発生又は切迫している状況です。命を守るための最善の行動をとります。	緊急安全確保（川崎市が発令）
警戒レベル4	災害のおそれ高い	<警戒レベル4までに必ず避難> 危険な場所から全員避難をしましょう。避難場所までの移動が危険と思われる場合は、近くの安全な場所や自宅内でより安全な場所に避難をしましょう。	避難指示（川崎市が発令）
警戒レベル3	災害のおそれあり	避難に時間を要する人（高齢者、体の不自由な方、乳幼児等）とその支援者は危険な場所から避難をしましょう。その他の人は避難の準備を整えましょう。	高齢者等避難（川崎市が発令）
警戒レベル2	気象状況悪化	避難に備え、ハザードマップ等により自らの避難行動を確認をしましょう。	大雨注意報等（気象庁が発表）
警戒レベル1	今後気象状況悪化のおそれ	災害への心構えを高めましょう	早期注意情報（気象庁が発表）

警戒レベル相当情報例

相当する警戒レベル	降雨	洪水・水位	高潮
警戒レベル5相当	大雨特別警報	氾濫発生情報 氾濫の発生	高潮氾濫発生情報
警戒レベル4相当	土砂災害警戒警報	氾濫危険情報 氾濫危険水位	高潮特別警報 高潮警報
警戒レベル3相当	大雨警報（土砂災害）	洪水警報 氾濫警戒情報 避難判断水位	高潮注意報（警報に切り替える可能性が高いもの）
警戒レベル2	大雨注意報	氾濫注意情報 氾濫注意水位 洪水注意報	高潮注意報
警戒レベル1	早期注意情報	水防団待機水位	

風水害時の避難行動とは

避難行動には避難所等に避難をする「**立ち退き避難**」と、自宅の2階など自宅内で安全な場所に避難をする「**垂直避難**」があります。

状況により避難行動は変わりますが、「避難」とは「難」を「避」けることであり、避難所へ行くだけが避難ではありません。また高潮の避難行動は風水害時の避難行動と同じです。

下の「状況に応じた避難行動」のフローチャートで風水害時、自分がどのような行動をとるとよいか確認しましょう。

状況に応じた避難行動

自宅が浸水想定区域内にある。 → はい → 立ち退き避難
 自宅が洪水ハザードマップの家屋倒壊等氾濫想定区域（河岸浸食）の内にある。 → はい → 立ち退き避難
 自宅が家屋倒壊等氾濫想定区域（氾濫流）の内にある木造住宅である。 → はい → 立ち退き避難
 浸水の深さが建物の最上階の床の高さを上回る。 → はい → 垂直避難
 浸水が長時間（3日間以上）継続する地域に住んでいる。 → はい → 垂直避難

（1週間程度の備蓄をしましょう）

立ち退き避難の注意点

- 動きやすい服装を心掛け、非常用持出品はリュックサック等に入れて両手が使えないようにしましょう。
- 運動靴を履き、浸水した場所を移動する際は、杖等で足元を確認しながら避難をしましょう。
- 風水害時は避難所の備蓄は原則開放しないので必要な物は非常用持出品に入れましょう。
- ベットと避難する際はベットをケージに入れて避難をしましょう。

日頃の備えについて

非常持出品とは避難した場所で何日かを過ごすために必要な物のことです。風水害時に緊急避難するときや、震災時に一時的に避難場所で身の安全を確保するときなどの場合に持ち出すものです。すぐに持ち出せるよう、持ち出しやすい場所にあらかじめ置いておきましょう。

Check!

水・食料	<input type="checkbox"/> 飲料水 <input type="checkbox"/> 携行食・非常食 <input type="checkbox"/> 粉ミルク・離乳食
医療・衛生	<input type="checkbox"/> 常備薬 <input type="checkbox"/> 救急医薬品 <input type="checkbox"/> 生理用品 <input type="checkbox"/> アルコール消毒薬 <input type="checkbox"/> 歯ブラシ <input type="checkbox"/> 口腔ケア用品 <input type="checkbox"/> マスク <input type="checkbox"/> 携帯トイレ
貴重品	<input type="checkbox"/> 現金 <input type="checkbox"/> 印鑑 <input type="checkbox"/> マイナンバーカード・健康保険証・預金通帳（コピー可）
安全対策	<input type="checkbox"/> ヘルメット <input type="checkbox"/> 軍手
道具類	<input type="checkbox"/> 充電器・モバイルバッテリー <input type="checkbox"/> 乾電池 <input type="checkbox"/> 時計 <input type="checkbox"/> チャック袋・ポリ袋 <input type="checkbox"/> ライター・マッチ <input type="checkbox"/> コンタクトレンズ・眼鏡
衣類	<input type="checkbox"/> 防寒着 <input type="checkbox"/> 下着・靴下 <input type="checkbox"/> レインコート
生活用品	<input type="checkbox"/> ウェットティッシュ・ティッシュ <input type="checkbox"/> タオル <input type="checkbox"/> ごみ袋

マイタイムラインについて

「マイタイムライン」とは、大雨や台風などの風水害にそなえて、一人ひとりの家族や生活の状況に合わせた避難行動、自分の逃げ方を考えておくものです。「いつ」「誰が」「何をやるのか」をスケジュールにまとめておくことで、いざという時にあわてずに行動をとる助けになります。

マイタイムラインホームページ

マイタイムラインを作ってみよう

警戒レベル	目安時間	市・県・気象庁等から発令される情報	自分や周囲の人の行動
日頃の備え	日頃から	防災訓練の告知	例：防災訓練や出前講座への参加。例：非常持出品や備蓄を確認する。
警戒レベル1	数日前	早期注意情報	例：スーパーは通常通り営業しているので、台風に乗って、多めに買い物をします。
警戒レベル2	1日前	大雨注意報 洪水注意報 高潮注意報 ・等	例：台風に乗って外に置いてある自転車等を家の中に入れる。
警戒レベル3	1日～数時間	大雨警報（土砂災害） 大雨警報（浸水害） 洪水警報 高齢者等避難・等	例：避難に時間を要する場合は、危険な場所から避難する。
警戒レベル4	数時間～2時間前	土砂災害警戒情報 氾濫危険情報 高潮警報・高潮特別警報 避難指示・等	例：安全な場所に避難を開始する。
警戒レベル5	0時間	大雨特別警報 高潮氾濫発生情報 緊急安全確保・等	例：より安全な場所に避難し、危険が去るまで待機。

高潮浸水想定区域図（浸水継続時間）

Check!

浸水継続時間（浸水深0.5m以上）

- 1週間以上
- 3日以上～1週間未満
- 1日～3日未満
- 12時間以上～1日未満
- 12時間未満 または 浸水深0.1m以上0.5m未満

各種マップについて

- 防災マップ**：指定避難所や広域避難場所、避難所圏域、災害時応急給水拠点等を表示した防災マップです。
- 洪水ハザードマップ**：想定最大規模の降雨が降り、河川が氾濫した場合の洪水浸水想定区域や避難所等を表示したハザードマップです。
- 内水ハザードマップ**：大雨や河川の水位が高い時に、下水道や水路等から水があふれた場合の浸水想定区域を表示したハザードマップです。
- 津波ハザードマップ**：川崎市に最大の津波被害をもたらすと想定されている「慶長型地震」の津波浸水予測を表示したハザードマップです。

情報収集について

川崎市防災ポータルサイト

市内の災害や被害情報、避難情報等を掲載するほか、平常時についても防災に役に立つ情報を掲載しています。

かわさき防災アプリ

災害時の緊急情報や避難情報を確認できるほか、気象情報、各種ハザードマップを確認することができます。

「川崎市危機管理本部」公式 X

危機管理本部の公式X（旧：Twitter）です。川崎市の防災に関する情報を発信していますので、ご利用の方はフォローしてください。

川崎市 LINE 公式アカウント

災害時には、皆様に重要なお知らせをご案内します。「川崎市」をぜひ「友だち登録」してください。

川の防災情報（国土交通省）

河川の水位や雨の情報から氾濫の危険度、浸水の危険性が高まっている河川等を確認することができます。

川崎市防災気象情報 Web サイト

川崎市防災気象情報 Web サイトは、川崎市及び周辺部における気象・地震情報等をまとめた Web サイトです。

高潮ハザードマップ HP

高潮ハザードマップの電子データのほか、高潮浸水継続時間や家屋倒壊等氾濫想定区域の電子データを確認できます。

メールニュースかわさき「防災気象情報」

川崎市の防災情報を発信します。配信を希望する方は空メールを送信して登録してください。

防災行政無線

災害時等に、防災気象情報をお知らせするため、防災行政無線の屋外受信機を設置しています。なお、放送内容は「防災レホンサービス」により電話で聞くことができます。

<防災レホンサービス>
 神奈川県内の一般加入電話、公衆電話及び一部の IP 電話 **0120-910-174（通話料無料）**
 携帯電話、神奈川県外の一般加入電話、公衆電話など **044-245-8870（通常の通話料金）**

「川崎市高潮ハザードマップ 幸区・中原区版」 発行・企画：川崎市危機管理本部危機対策部
 TEL:044-200-2923 FAX:044-200-3972
 〒210-8577 川崎市川崎区宮本町1番地
 制作：東京ケーブルフック株式会社 川崎市ホームページ <https://www.city.kawasaki.jp/601/page/0000116702.html>